

第1回合併推進審議会会長あいさつ

大変僭越でございますが、皆様のご推薦を受けまして、会長を引き受けさせていただきます。前回の合併検討委員会に比べますと5年位経っており、合併推進の圧力と申しますか、そういうものは一層強くなっているような気がいたします。

特に、この前の選挙で「構造改革なくして経済成長なし」の小泉内閣が勝利しましたことから、一方で地方分権改革の推進ということが言われながらも、実態としては、ますます構造改革、効率化、市場化、民営化の枠内に押し込まれていく可能性が強い、というような見方もできるかと思えます。

そういう状況の中で、地方自治体がとらざる選択肢というのは、あまり広くないかもしれません。やはり中長期的な自治体及び地域社会のあり方というものを一方で見据えながら、当面の対応策としてどういう選択をするのか、ということはこの審議会の皆様方の率直な意見を伺いまして、なんとかまとめることができればよいなと思っておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。